

さすがに暮れの賞金王を目指す選手たちとあって、ポートルレース発祥地で優勝を飾っている選手は多い。その中でも「大村巧者」と思われるのは、王者松井繁と今村豊。43周年をはじめMB大賞などGI3勝の松井はGI競艇祭も6周年にチャンピオンに輝く。「こは声援がすごいのでありがたい」とホールの住の江並みの気合の入りの入りの。優勝した09年2月のMB大賞以降、今年5月の周年までの6節間のドリム戦の成績は①②①①②と抜群の安定感を誇っている。今回はドリムには顔を出しそつないものの王者自身も相性の良さを認めており、暮れの一番に向けてグッとボルテージを上げてくる

大村・過去5回の記念レース優勝戦結果 59周年(2011)

着	艇番	選手名	進入	ST
1	①	太田 和美	1	13
2	④	瓜生 正義	4	06
3	③	重野 哲之	3	09
4	⑥	市川 哲也	6	05
5	②	井口 佳典	2	14
6	⑤	白井 英治	5	08

2連単 ①-④ 500円 逃げ
3連単 ①-④-③ 1820円

第20回GC(2010)

着	艇番	選手名	進入	ST
1	①	湯川 浩司	1	02
2	⑥	平田 忠則	3	05
3	③	白井 英治	4	08
4	②	吉川 元浩	2	02
5	⑤	飯山 泰	6	19
6	④	萩原 秀人	5	11

2連単 ①-⑥ 1220円 逃げ
3連単 ①-⑥-③ 4320円

58周年(2010)

着	艇番	選手名	進入	ST
1	②	今垣光太郎	2	01
2	⑤	石野 貴之	5	02
3	⑥	白水 勝也	6	06
4	④	落合 敬一	4	02
F	①	魚谷 智之	1	-
F	③	中野 次郎	3	-

2連単 ②-⑤ 550円 抜き
3連単 ②-⑤-⑥ 1240円

57周年(2009)

着	艇番	選手名	進入	ST
1	①	服部 幸男	1	08
2	⑥	山口 剛	5	16
3	③	菊地 孝平	3	12
4	②	魚谷 智之	2	10
5	④	松井 繁	4	12
6	⑤	笠原 亮	6	18

2連単 ①-⑥ 1630円 逃げ
3連単 ①-⑥-③ 6480円

競艇祭(2009)

着	艇番	選手名	進入	ST
1	①	服部 幸男	1	05
2	④	山口 剛	4	10
3	②	今垣光太郎	2	07
4	③	松井 繁	3	10
5	⑤	石橋 道友	5	11
6	⑥	石塚 久也	6	09

2連単 ①-④ 470円 逃げ
3連単 ①-④-② 1350円



太田 和美

実績!!

当地好相性は? 松井繁は抜群の安定感 タイトル数なら今村豊!!

若手なら峰竜太に可能性大

38周年など通算4度と当地GI優勝回数が一番多いのは今村。ほかの特別戦で準優勝などもあり、お目見えするのはSGやGIくらいだが、きっちり結果を残すところはスパースターの証しでもある。このところの今村は行き足系統が充実しており、ベスト12入りの可能性は十分にある。

残念ながらF休みで今回は参加しないが篠崎元志、それに峰竜太と今年は決定戦にフレッシュな顔が並びそう。峰は一般戦とはいえ当地優勝は4回を数え、GIも昨年12月の九州地区選手権で準優勝。大村の流れやすいマークの走り方も会得しており、SG覇者となつて賞金王決定戦に臨む可能性も低くはない。

湯川浩司は昨年のSGグラウンドチャンピオン決定戦の覇者。当地では一般戦も2勝と水は合っており、賞金ランク20位前後から大まくりを決めてくる。4月の59周年を逃げで制した太



山川美由紀

田和美は「ペラはずっといいよ」と自信を持っていったが、気温が上がった夏場、そして寒くなってきた秋以降も舟足は安定している。太田は長崎出身で大村は地元と言つてもいいレース場。「親類も多い」と発奮材料もあるだけに、当地特別戦2連覇に期待は高まるばかり。

激しい賞金ランク争いを繰り広げている池田浩二と瓜生正義は、池田が2度、瓜生は周年を含めて3度のVを大村で飾っている。両者に苦手意識は全くなく、トップ2が優勝戦でワンツーを飾るシーンが見られるかも。

ダークホース的な存在は女子レー

インで強いのは誰か!

選手名	1着率	独断評価
池田 浩二	77%	☆☆☆☆☆
瓜生 正義	71%	☆☆☆☆
重野 哲之	71%	☆☆☆☆
太田 和美	68%	☆☆☆☆☆
佐々木康幸	80%	☆☆☆☆
峰 竜太	56%	☆☆☆☆
松井 繁	73%	☆☆☆☆☆
赤岩 善生	69%	☆☆☆☆☆
今村 豊	67%	☆☆☆☆☆
原田 幸哉	75%	☆☆☆☆☆
魚谷 智之	43%	☆☆☆☆
重成 一人	58%	☆☆☆☆
中野 次郎	77%	☆☆☆☆☆
田中信一郎	64%	☆☆☆☆☆
白井 英治	73%	☆☆☆☆☆
山崎 智也	63%	☆☆☆☆
吉田 俊彦	68%	☆☆☆☆☆
濱野谷憲吾	53%	☆☆☆☆
須藤 博倫	73%	☆☆☆☆☆
湯川 浩司	53%	☆☆☆☆☆
山口 剛	67%	☆☆☆☆☆
坪井 康晴	58%	☆☆☆☆☆
寺田 祥	58%	☆☆☆☆☆
丸岡 正典	66%	☆☆☆☆☆
菊地 孝平	68%	☆☆☆☆☆
石渡 鉄兵	77%	☆☆☆☆
平尾 崇典	73%	☆☆☆☆☆
藤丸 光一	59%	☆☆☆☆☆
飯山 泰	55%	☆☆☆☆☆
市川 哲也	60%	☆☆☆☆☆
大嶋 一也	59%	☆☆☆☆☆
田村 隆信	69%	☆☆☆☆☆
中里 英夫	72%	☆☆☆☆☆
秋山 直之	58%	☆☆☆☆☆
川崎 智幸	65%	☆☆☆☆☆
白石 健	80%	☆☆☆☆☆
鎌田 義	63%	☆☆☆☆☆
岩崎 正哉	67%	☆☆☆☆
西山 貴浩	70%	☆☆☆☆
平本 真之	56%	☆☆☆☆
木村 光宏	70%	☆☆☆☆☆
平田 忠則	65%	☆☆☆☆☆
山口 節子	61%	☆☆☆☆
荒井 輝年	68%	☆☆☆☆☆
山川美由紀	72%	☆☆☆☆☆
深川 真二	74%	☆☆☆☆☆
勝野 竜司	86%	☆☆☆☆☆
赤坂 俊輔	66%	☆☆☆☆
吉田 徳夫	55%	☆☆☆☆☆
西村 勝	62%	☆☆☆☆☆
吉永 則雄	80%	☆☆☆☆☆
渡邊 英児	67%	☆☆☆☆☆

1着率は1コース時のもの ☆は1★は0.5

独断が許されるなら、現在の艇界で一番イン戦が強いのは誰だという問いには、間違いなく池田浩二と言いつつ。イン戦が強い、という意味は大きくふたつの要素に分かれる。まずはスタートが常に遅れないこと。そして逃げのターンが的確なこと。この双方ともに池田は確実性がある。スタートに関しては、他に合わせるのではなく、自力でしっかり早いタイミングを決める。ここにはメンタルの強さも求められるが、池田は大舞台でも揺るがぬ、強い精神力をもっているのだから。そして、ターン。インからの半径の小さい旋回でも、落とすスピードを殺すことなく、また差されやすい大回りにもならない。ハンドルの入り、アクセルワークともに、池田のインターンは完璧に見

える。もちろんエンジンがよほど仕上がっていないときは割り引かざるを得ないが、池田の場合はまず中堅以上であればイン戦は勝てる。穴党のファンであれば、インの頭は配当が不満と思うかもしれないが、こと池田が1号艇のときは、それでも逃げから買っべきだろう。

逆配当で魅力があるイン選手は誰だろう。それは、今回出場の選手でいうなら、秋山直之ではないだろうか。スタートが早くないタイプで、1号艇でも叩かれそうなき感じを与えるだけに、オッズはだいたい高めになる。だが、イメージよりはインで負けていないのだ。秋山の場合は多少スリットで後手を踏んでも、1マークのターンが実に巧み。まくり艇とターンマークの間をスピードを持って抜けるような感じで、バックは

なんと外側から残してくる。秋山がインから逃げて勝つと、3連単で50倍程度の配当にもなる場合がある。狙って損はないと言えよう。

とはいえ、このあたり狙い目は中級以上のファンなら先刻承知かもしれない。では、もっと意外な、インで配当が見込める選手をあげてみよう。それは市川哲也と菊地孝平だ。ただ、ここには条件が必要になる。まずエンジンが弱めで、それまでの成績が悪いこと。その上で回ってきた1号艇のときが、待つてきたの絶対好買の時なのだ。ふたりは、言うまでもなくスタートの早さが売り物。だが今のSGは、ほぼ全選手が早いと言っ

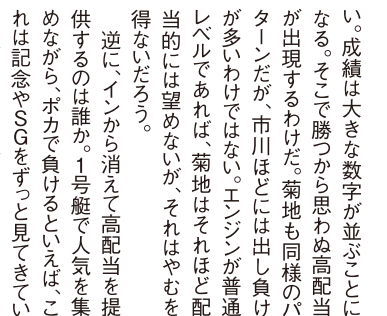
ても過言ではなく、スタート巧者がアウトから攻めて勝つパターンは少なくなつた。それだけにスタートが早いというアドバンテージはSGの舟券では魅力が小さくなっているのだ。それがインとなると一気に輝きを取り戻す。特に市川はSGになるとエンジンを出し負けすることがほとんど。2号艇から外では勝ちつら

い。成績は大きな数字が並ぶことになる。そこで勝つから思わぬ高配当が出現するわけだ。菊地も同様のパターンだが、市川ほどには出し負けが多いわけではない。エンジンは普通レベルであれば、菊地はそれほど配当的には望めないが、それはやむを得ないだろう。

逆、インから消えて高配当を提供するのは誰か。1号艇で人気を集めながら、ボカで負けるかといえば、これは記念やSGをずっと見てきているファンなら共通のイメージだろう。そう、濱野谷憲吾、瓜生正義、白井英治といったあたりだ。これは優勝戦など大きなレースでしばしば見られたから印象が強いと言え、一時は松井繁もボカが続いたときがあった。しかし、瓜生と松井は近年は実力に見合う確実性が出ていて、負けらんじやないか、という予想はほとんど当たらずにきている。いまは信頼しておく方が無難だろう。

最後に、調子は悪くても1号艇なら負けない、という典型的な選手を一人あげよう。それは西村勝だ。かつては原田幸哉や赤岩善生がそのタイプの筆頭だったが、近年はイメージが薄れた。現在のSG戦線では西村の1号艇が絶対の推奨銘柄と言える。

最後に、調子は悪くても1号艇なら負けない、という典型的な選手を一人あげよう。それは西村勝だ。かつては原田幸哉や赤岩善生がそのタイプの筆頭だったが、近年はイメージが薄れた。現在のSG戦線では西村の1号艇が絶対の推奨銘柄と言える。



池田浩二

独断!!

インの大村だからこそ考える 本当にインで強く、そして儲かる選手とは!?

